

語学研修 修了報告書

参加プログラム	ヨークプログラム	国名	イギリス	氏名	YK
学籍番号		学科	国際関係学科	研修時の学年	1
留学期間	2019年	6月	～	2019年	7月
				記入年月日	2020年 4月 2日

① 研修前について

研修の準備について教えてください。

出発前:	参加意思決定	2019年	4月	10日頃
	ビザ申請(あれば)	年	月	日頃
	ビザ交付(あれば)	年	月	日頃
		年	月	日頃
		年	月	日頃

準備・手続きについての感想や、今後参加を希望する学生にアドバイスがあれば教えてください。

申し込みの締め切り日が、入学してからあまり時間が経っていないころだったので、決断する時間は短かったです。まだ入学したての頃は、大学にも慣れていないので、躊躇してしまうかもしれないけれども、少しでもやってみようと思ったら、参加してみるべきだと思いました。次の年にも同じことが出来るとは限らないので。

日本から持参すべきと思ったものはありましたか。

シャンプーとリンスは3週間分持っていくと良いと思います。海外製のシャンプーや、シャワーの水は日本人の髪に合わないことが多く、髪が傷んでしまったり、パサパサになってしまったという子も多かったです。また、気温の変化が激しく、10℃を切る日から、40℃近く気温が上がる日もあったので、温度調節ができるようにカーディガンは厚手のものと薄手のものを用意すると良いと思います。

研修前にしておいてよかったことや、しておけばよかったことはありましたか。

私は、地元が静岡だったので、富士山と茶畑の写真を撮っていました。自己紹介の時に、話のネタにもなるので現地の学生やホストファミリーと親しくなれるきっかけになると思います。

研修に参加する目標は何でしたか。

高校時代は、受験英語ばかりをやっていて、英語で実際に「話す」ということをやってこなかったもので、実践的な英語を経験する良い機会だと思いました。また、海外経験があまりなかったので、自分の常識が通らない環境に行ってみようと思いました。

② 研修先でのオリエンテーションについて

研修先でのオリエンテーションはどういった内容だったかをお書きください。

主に大学やプログラムの紹介や、授業の受け方などの説明がありました。授業のためのクラス分けや、広い大学だったのでキャンパスツアーなどもありました。

③	プログラムについて
<p>研修場所の環境、治安、設備について教えてください。</p>	
<p>大学のあったヨークの町は、東京よりも治安が良いのではないかと思えるくらい落ち着いた町でした。一人で歩いていても安心できるほどで、町の人たちもとても親切な人が多く、過ごしやすかったです。ヨークは、海外では人気の観光地ですが、日本ではあまり知られていないようで、日本人は自分たちの集団以外ほとんどいませんでした。反対に、週末に行ったロンドンでは少し治安の悪いように感じました。観光客(特に日本人)を狙った物乞いや詐欺も多いようなので注意が必要だと思いました。</p>	
<p>現地学生との交流について教えてください。</p>	
<p>ヨーク大学の学生が、キャンパスツアーなど、プログラムのお手伝いをしてくれました。現地の学生よりも、どちらかというと他の地域からの留学生との交流の方が多かったです。他の地域の留学生と合同で行う授業もありました。私は、韓国、タイ、香港、フランスといった国の留学生と仲良くなり、今でもSNSで繋がっています。</p>	
<p>授業の感想</p>	
<p>授業は、主にイギリスの文化や歴史について勉強しました。リサーチプロジェクトという課題があり、自分たちでテーマを決めて統計を取り、最終的に15分程度の発表をしました。統計は実際に町に出て、通りすがりの人を呼び止めて質問をし、データを集めました。慣れない英語での作業で、知らない人に声をかけなければならないので、思った以上に大変でした。苦戦しましたが、英語を実用化させる良い練習になったと思います。</p>	
<p>授業以外の部分についての感想</p>	
<p>1時間目と2時間目の間に、コーヒープレイクの時間があり、紅茶やコーヒー、クッキーが出てきて、お茶をしながら友達と会話を楽しみました。イギリスらしい文化だと思いました。放課後は、仲良くなった韓国人留学生の集団と一緒にご飯を食べたり、写真を撮ったりと、充実した時間を過ごせました。</p>	
④	研修先での危機管理について
<p>ご自身の身を守るために、気をつけることや、意識したことがあったら教えてください。(例:その国(州)独特の法律やルール等)</p>	
<p>ロンドンは、スリが多かったので、パスポートとキャッシュカードはバッグとは別に、首から下げて、服の中にしまっていました。また、人の多い観光地では、リュックサックやスカートのポケットは、ナイフやハサミで切られることもあるようなので、なるべく貴重品を入れないようにしていました。</p>	
<p>研修校先の担当者から、危機管理について特にアドバイスされたことがあれば教えてください。</p>	
<p>危機管理の観点から、病気等を含め、何かトラブルはありましたか。あった場合、どのように対処しましたか。</p>	

⑤ 研修先での生活について	
どのような住まいでしたか。	一般的な住宅街にある家でした。そこまで大きい家ではなかったけれども、綺麗な庭があり、内装もおしゃれでした。イギリスの家は、暖房はあるけれどもクーラーは無い家がほとんどなので、暑い日は窓を開けて対応していました。
暮らしてみた感想について教えてください。	ホストファミリーが優しいのはもちろん、近所の人たちもとても良くしてくれました。初めての海外での長期滞在だったので、最初は緊張したけれども、優しく接してもらえたので、慣れてからはホストファミリーと会話を楽しむ余裕が生まれました。
食事について、何か感想があれば教えてください。	イギリスの食事はあまり美味しくないというイメージがありますが、私の家の料理はとても美味しかったです。ヨークの伝統料理から、お米の料理まで、様々なジャンルの料理を出してくれたので食事に困ることはありませんでした。しかし、中にはホームステイ先の食事が合わないという友達もいたので、家庭次第だと思いました。
⑥ 研修先での金銭面について	
実際にかかった費用を記入してください。(プログラム費、教材費、お小遣い、その他)	プログラム費(30万ほど)、現地での食費や週末の旅行費(5万~10万円ほど)、通学のための交通費(5000円)
研修先の国の物価は高い/安いですか。買い物など便利ですか。	日本と同じくらいか、やや高め。
お金はどのように管理しましたか。(クレジットカード、現金等)	現金とクレジットカード両方。タクシーを利用すると、クレジットカードしか使えない、または現金しか使えない場合が多いので両方あった方がよい。普段はクレジットカード払いの方が多かった。
⑦ 研修の成果について	
今回の研修を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。	学習面では、英語を学ぶ際により、「話す」ということを意識するようになりました。
⑧ その他	
その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。	